

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県女性保護施設
指定管理者 社会福祉法人神奈川県民生福祉協会
施設所管課 人権男女共同参画課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

利用者が減少し、収支状況に若干懸念される点があるが、提案どおりに取組みを実施していることから、B判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	11月15日	○	○	○		
11月	12月9日	12月20日	○	○	○		
12月	1月10日	1月20日	○	○	○	あり	入所者からの職員の対応に係る苦情を受け、改めて支援員以外の職員も含め、入所者への関わり方について指導を徹底するように指導した。
1月	2月9日	2月20日	○	○	○		
2月	3月9日	3月19日	○	○	○		
3月	4月9日・ 5月14日	5月23日	○	○	○		

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

- ① 利用者の主体性を尊重した自立支援計画の作成を確実に行う。
- ② 利用者の心理的ケアの充実を図る。
- ③ 退所者自立支援事業の充実を図る。

<実施状況>

- ① 作成実績 10月：3人、11月：2人、12月：1人、1月：1人、2月：1人、3月：3人
下半期実績：11人（前年同期：24人）
- ② 面接実績 10月：36人、11月：33人、12月：23人、1月：23人、2月：23人、3月：19人
下半期実績：157人（前年同期：228人）
- ③ 支援実績 10月：375人、11月：322人、12月：351人、1月：318人、2月：219人、3月：305人
下半期実績：1,890人（前年同期：1,631人）

提案された事業のうち、①及び②は実績が減少しているが、新規利用者数の減少等が要因と考えられる。③は実績が増加しており、事業の充実が図られたことにより、需要増につながったものと推察される。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	144,424 (144,712)	※1 143,024 (143,312)	0 (0)	1,400 (1,400)	144,424 (144,712)	0 (0)
下半期 予算額	71,524	71,524	0	※2 —	71,524	0
10月	8,122	7,977	0	145	9,991	△1,869
11月	8,213	8,003	0	210	8,206	7
12月	20,933	20,679	0	254	15,492	5,441
1月	8,220	8,035	0	185	8,403	△183
2月	8,016	7,874	0	142	8,976	△960
3月	8,137	7,815	0	322	8,795	△658
今年度 半期計	61,644	60,386	0	1,258	59,865	1,779
前年度 同期計	66,566	63,828	0	2,737	62,928	3,637

※1：年度協定における指定管理料を記載。（団体予算編成後に国が定める措置費の単価改定があったため、指定管理者の当初予算額は、改訂後の単価に基づき定めた年度協定における指定管理料と金額が異なります。）

※2：その他収入（寄付金等）の収入時期については、特に収支計画等を定めていません。

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

- ①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

	金額	工事箇所・内容
上半期		該当なし
下半期		該当なし
総額		該当なし

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	1,120人	1,251人	△10.5%
11月	1,063人	1,196人	△11.1%
12月	1,068人	1,231人	△13.2%
1月	1,086人	1,255人	△13.5%
2月	931人	1,065人	△12.6%
3月	957人	1,270人	△24.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	—人	6,679人	7,371人	—%	△9.4%
今年度下半期計	—人	6,225人	7,268人	—%	△14.4%

※利用者数は、延べ人数で記載

利用状況に関する意見等

① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。

② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

指定管理者が提案した入所者支援等については十分に実施されており、丁寧できめ細やかな支援の結果、自立が促進され、早期に退所する者が増えたため、利用者延べ人数としては減少となっている。

また、新規入所者については、平成 23 年度は当該施設入所の前提となる一時保護が減少傾向にあったこと、施設の老朽化に加え、入所者が望む個室化への対応ができていないことが入所者の減少につながっていると考えられる。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	()	2 ()	1 ()	()	()	3 ()

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
12月29日	施設敷地内における不審火	不審火を発見後すぐに鎮火作業にあたる。その後、警察・消防・関係機関へ連絡。	警察の現場検証の結果、いたずらだと思われるとの話だったが、敷地内の刈り取った草木に不審火が見られたため、日ごろから燃えやすいものを置いたままにしないことを確認した。

9 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。

該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
1月6日 (12月29日)	指定管理者	上記8に記載した事故があったので、敷地内に燃えやすいもの等を置いたままにしていないかを確認した。	問題なし。

10 下半期の所見等

2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。

<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月～11月には職員の人権及び事故防止研修を行い、改めて職員への意識付けを行った。 ・ 12月から自立準備室の利用が2名の入所者で開始され、準備室の利用も見据えた自立目標が立てやすくなっている。 ・ 1月には職員の自己評価に関する調査を行ったが、人権意識や情報管理等の意識が高まったことなどがスタッフ間で評価された。また、改善すべき点として、更なる情報管理やプライバシーの保護、効率的な業務推進等があげられた。 ・ 3月の職員会議で倫理綱領を全員で読み合わせし、人権に配慮したサービスの展開を図るための確認を行った。 ・ 全体的に、利用者の減に伴い、利用者の気持ちとペースを尊重しながら丁寧な支援が行えている。
<p>施設所管課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の自立支援、就労支援、退所者のフォローアップに積極的に取り組み、指定管理業務を着実に推進している。 ・ 今年度は職員への人権及び事故防止研修等を実施しており、利用者への支援の質の向上に努めている様子が伺える。 ・ 入所者数の減少（平成23年度下半期の延べ入所者数は6,225人で、前年同期7,268人と比べ14.4%の減少）により、入所者に対しよりきめ細やかな支援が可能になり、そのメリットを生かして職員のスキルアップにも努めている。